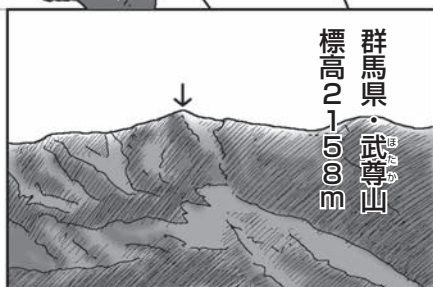
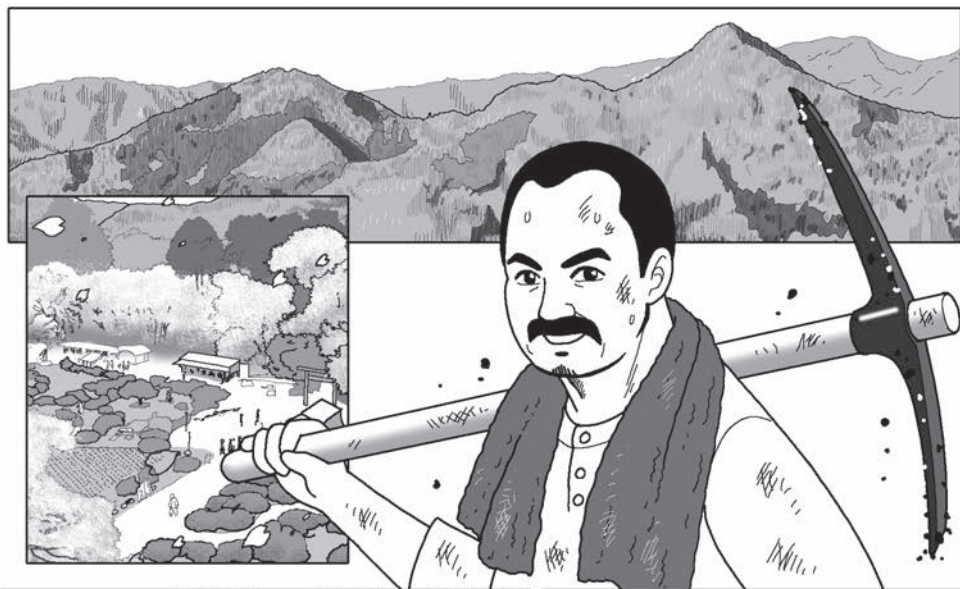


第4章 故郷に恩返しを





江戸時代には天守は取り壊され、藩主が次々変わるのち、明治の廃藩置県となる。



本多氏



黒田氏



土岐氏



廃藩

廃藩置県後、城址は宅地や畑になっていた。

そのあと、民之助を囲んでここを公園として整備することが話し合われた。第一回の会合と
思われる。



私が
こんなにちあるのは
故郷である
この沼田のおかげです



この時に集まった人たちは
城址内の平八石で
写真を撮っている。



積年の夢を
かなえるときが
きたようです

それは
ありがたい
お話です

よろしく
お願いします

民之助はさつそく
地主と交渉し始めた。

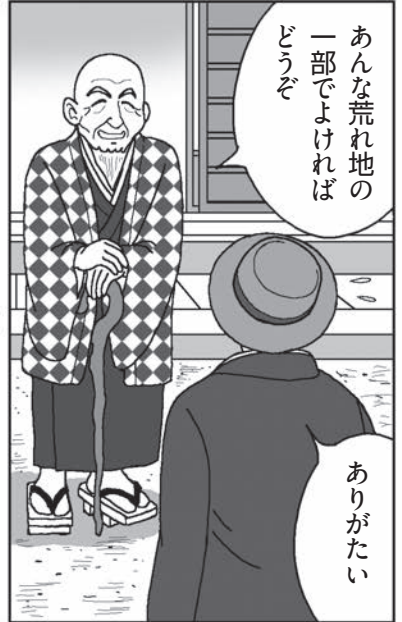


あんたが
民之助さん
か？

私の土地を
売って
ほしい？



あんな荒れ地の
一部でよければ
どうぞ



ありがたい

売って
いただけ
ますか？

ああ、
いいですよ



無責任な
人々はこんな
うわさをした。

民之助さん
土地を買い
占めてる
らしいぞ



そうらしいな
金もうけの
ためじゃ
ないのか



もうじゅうぶん
もうけてる
はずなのに
なあ

金持ちの
考えてる
ことは
わからん
もんだ



ふーわあ...





まず、グラウンドを
陸上競技場にして

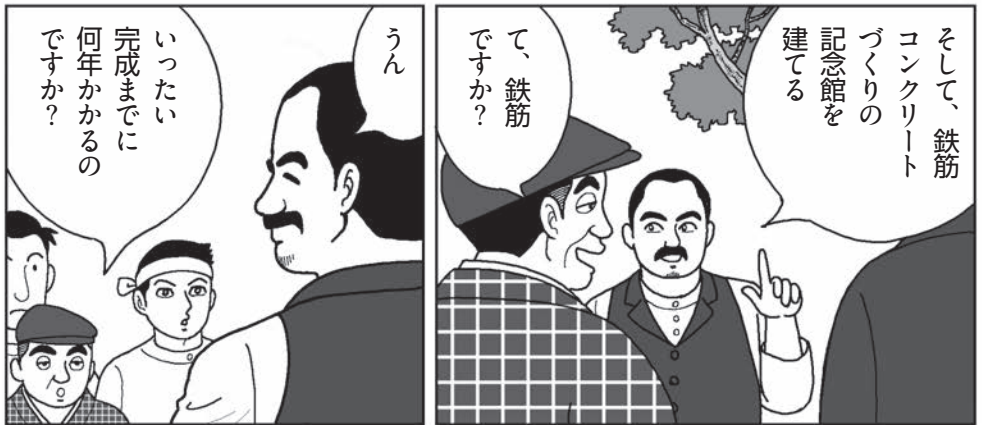
北側には野球場や
プールをつくる

公園には
築山、林、池を
つくり

そのすべてを
関東一にする

そんな
壮大な
計画
だったのか

これは
たまげた



そして、鉄筋
コンクリート
づくりの
記念館を
建てる

て、鉄筋
ですか？

うん

いったい
完成までに
何年かかるの
ですか？



見当も
つかないが
私の目が
黒い内には……

とにかく
沼田の人々が
集える公園を
つくるのだ

みんな
誇りをもって
働いてほしい





民之助が私財を
なげうった
沼田公園の
造営工事着工から
10年後——、
1926（大正15）年
12月
沼田町役場

工事は
まだ
進行中
ですが……

あの土地を
公園として
沼田町に
寄贈
します

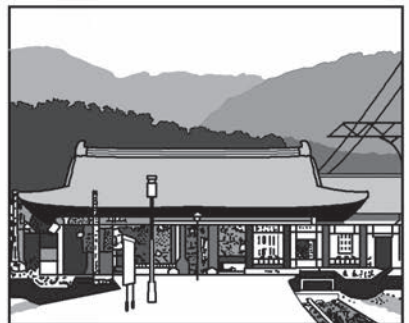
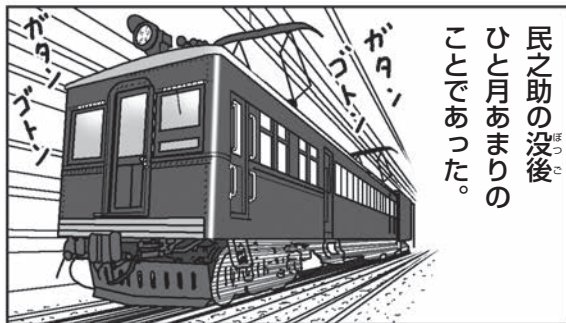
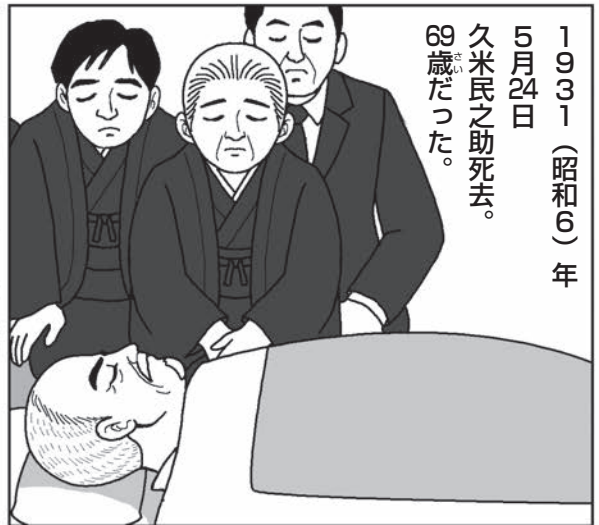
え!?

あの広大な
土地を
全部
ですか?

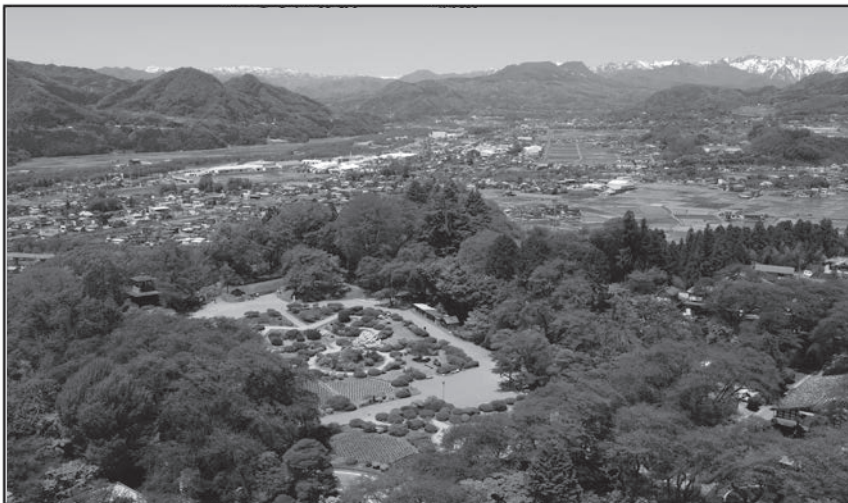
はい。
六町九反
二十三歩
あります



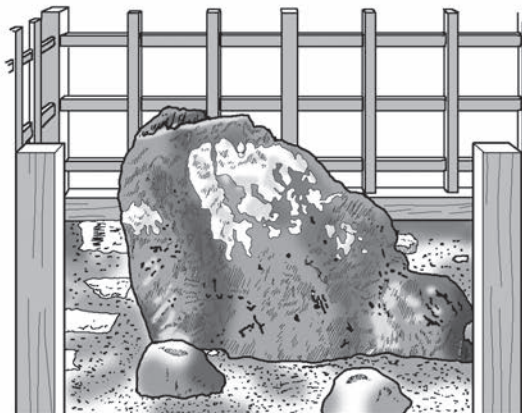




沼田公園は民之助の構想を縮小して整備が進められた。



民之助たちが記念写真を撮った平八石の周囲もきれいに整備された。



この石は、戦国時代の勇将沼田平八郎景義にまつわる伝説が残っている。

民之助の遺骨は久米家の菩提寺である正覚寺に納められ、



東京・千駄ヶ谷の瑞田寺と金剛山に建てられた「久米博士功彰碑」の下にも分骨されて納められた。